

ひとつ屋根の下

第13号



社会福祉法人 吉祥会 寒川ホーム

介護老人福祉施設
ショートステイサービス
デイサービス
ヘルパーサービス
居宅介護支援

〒253-0103
こうざくんさむかわまちこやと
神奈川県高座郡寒川町小谷1丁目13番5号
TEL 0467(75)0785 FAX 0467(75)9963
〈メールアドレス〉 mail@samukawahome.com
〈ホームページ〉 http://www.samukawahome.com

これからの行事

七月 八月 九月 十月 十一月

七夕（短冊作り）
小谷自治会 夏祭り参加
敬老会 家族会（介護老人福祉施設部門）
小各小運動会見学
遠足（秋の美りを楽しむ会）

十二月 一月 二月 三月

クリスマス会
初詣 新年祝賀会
家族会（介護老人福祉施設部門）
節分（豆まき）
桃の節句（お茶会）

新人職員紹介 New face! Introduction



Q 質問内容

- ① 抱負
- ② 入職して感じたこと
- ③ 趣味（特技）



私達のことを覚えてね☆

① 笹木 恵 介護老人福祉施設部門

- ① ここで多くのことを学び自分自身が成長することです。自分ができることを力いっぱいやりたいです。
- ② 清潔感がありとてもきれいな環境です。ファミリーの気持ちを理解して、職員全員がかんばっているのがいいです。
- ③ 写真を撮ること。あとは旅行やドライブなど、出かけることが好きです。

② 永倉 舞 短期入所生活介護係

- ① 安心と信頼を持っていただけるワーカーをめざし、また「ショートステイしたい」といわれる環境づくりを目指しています。
- ② 会話が好きだったので、実際はコミュニケーションの難しさを実感しました。仕事を通じていろいろ学びたいです。
- ③ ファッションに興味があるので買い物です。最近韓国語を学んでいます。

③ 鈴木 健吾 介護老人福祉施設部門

- ① ファミリーの安全安心を第一に考えていき、私なりの支援の仕方を身につけてプロのケアワーカーを目指したいです。
- ② 以前グループホームに勤務しており、特養との違いを実感しました。私にとって成長できる職場と感じています。
- ③ ツーリング、アウトドア、そして映画鑑賞です。

新しく加わった職員さん！

猪熊 晶子 医療部門
佐久間 真里 医療部門

中原 恵美 事務部門

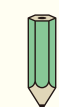
④ 小池 咲 短期入所生活介護係

- ① 自分なりに仕事が苦にならないように、楽しくつづける方法を見つけていきます。
- ② 利用者様とも職員の方とも、コミュニケーションをとることが難しく大変です。
- ③ 一人でぶらぶらと買い物に行くこと。特技は夜遅くまで起きていられることです。

⑤ 植田 洋平 介護老人福祉施設部門

- ① 日々、ファミリーに信頼されるケアワーカーになれるように、がんばってまいります。
- ② アットホームな雰囲気がいい感じ。この環境の中で仕事ができるのはうれしいです。
- ③ 音楽鑑賞が好きですが、スポーツも大好き。

編集後記



昨今、介護職員の職場環境の改善が叫ばれている中、「介護の日」が設定されました。いい日いい日にかけて、11月1日に決定されたそう。介護を取り巻く環境は厳しく日々変化しています。

『ひとつ屋根の下』第13号いかがでしたでしょうか。寒川ホームの一年間の「歩み」をお届けできたことに感謝いたします。

広報委員一同

発行



ひとつ屋根の下 第13号
平成21年7月1日発行
社会福祉法人 吉祥会

理事長 鈴木 清
施設長 三澤 京子
広報委員 佐野 祥子
木藤 剛
三浦 征勝
市川 知佳子
梶原 宏美

印刷

(株)コムプランニング

介護老人福祉施設部門

「はなまる」
グループリーダー/ 福井美穂子

はなまるグループの1年間を振り返って、この1年間で取り組んだことは…

まず、身の回りの小さな事（すぐに実行できる事）から変えていくことが大事と考え、ファミリーが楽しみながら日々健康に過ごしていただけよう、従来食事前に行っていたラジオ体操に加え、食事の前に口腔体操を行うようにしました。それに加えて、指の体操や手の体操などのプログラムなどもどんどん増えていき、ファミリーが楽しみながら参加してくださるようになりました。あとは、はなまる独自で行っていた「ビューティレク」（本来は、外出時などにお化粧をしてきれいになる事により心身状態の向上につなげるものであったが…）にファミリーの整容も加え新たなビューティレクとして身だしなみの配慮に努めました。（こちらの方はなかなか完璧とはいきませんでしたが…）

去年はご家族からの要望を取り入れ、またご家族にも参加していただき、寒川中央公園への紅葉狩りを実施する事ができました。

今年度は、ファにリーやご家族のニーズをもっと探り要望をさらに取り入れたいと考えています。（ファミリーの担当職員を中心とした）個別の要望に合わせたレクリエーションを行う事により、ご家族やファミリーとの距離を縮めていきたいと考えています。

「和」
グループリーダー/ 大瀧 亜矢子

和グループでは七夕や節分、ひな祭りなど季節の行事を随時行いました。また、季節にあわせためり絵を行いそのときそのときの季節を感じていただくようにしました。大きい行事としては、四月にお花見をかねた散歩を行い、桜を満喫していただきました。一〇月にははなまるグループと合同で運動会を行いました。特にチョコレート食い競争が好評でした。普段はゆっくり車椅子をこいでいる方がとても早くこがれているなど普段とは違った一面をみる事ができました。一二月のクリスマス会ではケーキに自分の好きなフルーツやチョコレートなどをトッピングしていただき、自分で作ったという楽しさを感じていただきました。また、靴下やひざ掛けなどファミリーに合ったプレゼントをとても喜ばれていました。

季節の行事とは別に、水戸黄門がない日には毎日楽しみにしているファミリーのためDVDを鑑賞したり、歌の好きなファミリーのため歌謡ショーのDVD鑑賞などを行いました。暖かい日には外気浴やリラックスできるよう足浴を行ったり、随時昼食やおやつ外出を行いました。その中で、足浴をするためにソファにファミリー同士一緒に座っていただくと、ファミリー同士で会話がふえました。そのため、新年度に新しいソファを購入しファミリーや職員との交流の場が増えました。これからもファミリーが楽しめるような生活が送れるよう、また心地よく過ごせる場を提供していきたいと思ひます。

「四つ葉」
グループリーダー/ 鈴木 一哉

20年度は「グループの輪を大切に～レク仲間・話仲間を作ろう～」をスローガンにしていきました。職員も交え、気負いしない・顔馴染みの関係を築く手伝いが出来たらと思った為です。

「四つ葉」一年間のあゆみ

- 4月 ■桜を見に散歩に行きました。
■幸い天気の良い日も続き、皆様から「綺麗だね」「気持ちいい」等の言葉をいただきました。
- 5月 ■母の日/四つ葉では一昨年から花屋でカーネーションを購入し配っています。
- 6月 ■父の日/フルーチェを作り、気持ちを込めた手紙を渡しました。皆様より「おいしいね」と笑顔。楽しんでいただけたようです。
■イチゴ狩り/昨年「あゆみグループ」で行った場所を合同で実施。
- 7月 ■ホームに神輿が来たので見学をしました。
- 8月 ■小谷夏祭り・ホーム内での縁日
- 9月 ■敬老会 ■夕涼み会/夜風にあたり、花火をしました。
- 10月 ■運動会/四つ葉リビンでいくつか競技を行ないました。
- 11月 ■外食を強化して行ないました。
- 12月 ■年忘れ会/あゆみグループと合同で体を動かしたり、ビンゴ大会等を行ないました。
■年賀状作成/手版を作り、ご家族に送らせて頂きました。
- 1月 ■新年祝賀会/希望者には初詣に菅谷神社に行きます。
- 2月 ■節分
私を含めた鬼に扮した職員めがけてボールを投げます。なんだかいつも以上に楽しそう。
- 3月 ■ひな祭り
甘酒と雛あられを召し上がられました。写真撮影も行ないました。
年間の各行事やイベントの準備、飾りつけ等のいくつかは職員だけでなくファミリーも交え行ない、また、日々行なっているレクリエーションは割愛させていただきました。

「あゆみ」
グループリーダー/ 永井 恵

平成20年度は、「共に楽しみ・共に歩む」と言うスローガンの下に、ファミリーと職員が共に楽しむ時間を持つことに取り組みました。4月には近くの小学校の満開の桜を、散歩を兼ねて見に行きました。6月にはイチゴ狩りに行き、赤く実った美味しいイチゴをほおぼりました。7月にはリビングの窓を開け放し、ベランダやリビングで足湯をしながら冷たいアイスクリームを食べました。また、七夕の時期には、短冊に一人一人願い事を書き、皆で鑑賞して楽しみました。10月には、四つ葉グループと合同で運動会を行い、11月には昼食やデザートを食べに外食に行き、嬉しそうにメニューを見ながら、食べたいものを選んで食べました。12月には御家族宛に年賀状を書きました。また、年忘れ会ではビンゴゲームに熱中し、運良く一列揃った方は、景品をもらってとても喜んでおられました。1月には毎年恒例の菅谷神社への初詣に行き、お正月の気分を味わいました。2月には節分の豆まきで、鬼に扮した職員を見て沢山笑ってくださり、豆代わりのボールを一生懸命ぶつけていました。大きな行事以外にも、日常的に外気浴や散歩、個別リハビリ等をおこない、身体機能維持や気分転換を図れる様に、心掛けて行いました。

こうして振り返ると、「もっと出来たのでは？」と思うことがありますが、充分と自己満足することなく、ファミリーのその時の一瞬の笑顔の為に、その時に一緒に笑えるように、ファミリーに向き合っていきたいと思ひます。



医療・栄養・調理部門

医療部門

部門長/小林 晴恵

医療部門は、入居者・利用者の高齢化も進み、持病をお持ちの方もあり、生命の危機と隣り合わせにいるため、緊張感の中で毎日を過ごしています。

夕食までは普通に食事していたのに、夜になり、急に高熱が出たり、嘔吐したり…予測できない出来事が多々あります。転倒による骨折、肺炎、脳出血、脳梗塞、腸閉塞等々、それは昼夜を問わず、突然やってきます。いつもハラハラ…ドキドキ…。悩みのタネは医療機関へつなぐタイミング。困る事はご家族に連絡がつかない時。それでも、私達には、些細な顔色や表情の変化、食欲の低下や、体が熱い等、ファミリー・御利用者のサインを見逃さない、仲間がいます。

職種を超えて、職員が介護を行なう現場のチームの一員としての自覚を持ち、見守るまなざし…。職員の協力があってこそ、難局を乗り越えてこれたと思っています。御本人が一番安楽に過ごせるように…それを大前提に行動したいと心掛けています。何が正解かではなく、ベストを尽くすこと。それが医療部門を支える原点だと思うからです。



短期入所生活介護係

係長/今村 真

『家族の外出』『家族の息抜き』が多くの理由で、“利用されるご本人の希望ではない”ことがショートステイの特徴ではないでしょうか。もちろんご家族の気分転換や休息は大変重要なことです。が、利用するのは家族ではありません。ということは、ご利用者が「また来なくなる、また会いたくなるショートステイ」を作ればいいのだ!!!このことを永遠のテーマとして取り組みました。

今年取り組んだ試みの1つとして、「いいチームケアを提供するのに、まずは職員同士の関係をもっともっと深いものにしよう!」と考えました。そこで考えたのが“毎月1回は全職員が集まって、軽食を食べながら悩みや相談を気軽に言い合える集いの開催。”を提案してみました。そこに係全員がそろったのです!!この時僕は「永遠のテーマに一歩近づけた。みんなもいいサービスを提供したいと思っているんだ。」と感じました。

この集いを行ってみて、複雑な悩みを抱えていた職員がいることや、引っ込み思案な職員も会議では発言するようになったことなど、今ではこの集いを行って本当によかったと実感しています。今後も「また来なくなる、また会いたくなるショートステイ」を目指して頑張ります!



栄養・調理部門

部門長/佐藤 恵利子

御利用様の食生活を担い施設内で生き生きとした生活を送っていただけるよう個々の身体状況・生活スタイルを理解し栄養管理の行き届いた安全で美味しい食事の提供をするために職務を遂行して参りました。

寒川ホームご利用者の喫食率は非常に良好で残菜0gとなることも度々あり私達も更に仕事にたいしての自覚や充実感に繋がっております。高齢者の食事の満足度や摂取状況はその日の内容、献立食品の食べ易さ等色々な要因が影響しております、その状況が直接見える場面での気持ちの通じたサービスの大切さを知るために、厨房職員がコミュニケーションを取りながらファミリー個々の健康状態を観察しながら接することにより献立や調理内容に反映させる事が出来ました。外出などが難しいご利用者の多い中、季節感を食事面から感じていただきたいとの思いから桜寿司・旬御飯・栗ご飯など目で見て分かる食事内容の提供や、喫食状況は良好でも疾病のある方、低体重気味の方には付加食として栄養補助食品の提供をし、改善が見られ良い結果を得ることが出来ました。これからも安全でひとり一人に合った美味しく喜ばれる食事の提供に努めたいと思います。



通所介護係

係長/木藤 剛

デイサービスは「元気いっぱい的一年」を過ごすことが出来たと感じます。昨年に比べ入院や中止者が少なく、皆様一年間、夏の暑さや冬の寒さに負けないで元気にご利用していただきました。フロアからご利用者・職員の大笑いの声が響き渡り、その笑い声を聞いているだけで私自身、とても元気に仕事が出来ます。

外部からのプログラムを増やすことが出来ました。近隣の小谷小学校の生徒が歌や紙芝居を披露しに来所してくださったり、以前より来ていただいている湘南芸能会・松林保育園の園児によるお遊戯・湘南ハートウイング(コーラス)・コカリナ・ギター演奏・ハーモニカ演奏・折り紙はもちろんのこと、指編みクラブに関しては、先生がご利用者の作品を東京にて展示をしてくださり、より一層の盛り上がりを見せることが出来ました。本当に近隣の皆様の助けにより元気で楽しいデイサービスを運営出来ていることに感謝しています。

職員一同本当日にご利用者、その家族の笑顔に励まされ、業務に精進することが出来ています。より一層楽しく、元気で笑顔いっぱいのデイサービスを目指し職員一丸となって精進してまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。



居宅介護支援係

係長/高橋 龍矢

介護サービスの利用に先立っては、まず利用者が介護を要する状態であることを公的に認定(要介護認定)される必要があります。これは、医療機関を受診した時点で要医療状態であるかどうかを医師が判定できる健康保険と対照的です。要介護認定は認定調査の結果をもとに保険者によって行われ、要支援1、2、要介護1～5の7つの段階に分けられる(法律上、要支援認定と要介護認定は区別され、要支援の場合、利用できる介護サービスが限定されます)。これをもとに、どのような居宅介護サービスを組み合わせる利用するかコーディネートするのが介護支援専門員です。

堅苦しい制約があったり、分かりにくい内容が多い介護保険制度ですが、一番大切なのは「心と心・人と人」だと痛感しています。ご利用者は「お困りだから相談しサービスを利用される」訳です。私達寒川ホーム居宅介護サービスが出来る事に最大の努力をして、今までも、そしてこれからも「利用者本位」を貫いてご利用者様を支援させていただきます。



【ISO9001】2008更新について



ISO9001:2000からISO9001:2008への更新審査を2009年4月15日に行いました。審査では、ISO9001:2008に基づいた品質マネジメントシステムを有効に実施し、継続的に改善を行っている事を検証していただき、ISO9001:2008の認証登録の再認証を推薦して頂きました。平成21年度から寒川ホームはISO9001:2008を運用していきます。

文責 高橋 龍矢

平成 20 年事業報告

特別養護老人ホーム 寒川ホーム

要介護度別人数

1	2	3	4	5
3 名	4 名	5 名	21 名	20 名
平均介護度	平均年齢	平均在籍期間		
3.85	84.43 歳	5 年 7 ヶ月		

在宅サービス

短期入所(ショートステイ)事業

年間稼働率	利用延べ人数
102.9%	6,389 人

通所介護(デイサービス)事業

年間稼働率	利用延べ人数
67.49%	6,038 人

訪問介護(ヘルパーサービス)事業

利用延べ件数	総時間数
7,251 件	7,396.5 時間

居宅介護支援事業

給付管理作成実績
1,156 名

寒川ホーム概要

<職員数>

【特別養護老人ホーム】

☆定員 54 名
職員 61 名

【短期入所生活介護】

☆定員 17 名
職員 13 名

【通所介護】

☆定員 35 名
職員 12 名

【訪問介護】 900 時間

職員 14 名

【居宅介護支援サービス】

職員 3 名

資金収支計算書

勘 定 科 目		金額(円)
収 入	介護福祉施設介護料収入	174,006,340
	居宅介護料収入	134,247,374
	居宅介護支援介護料収入	11,270,044
	利用者等利用料収入	62,144,353
	その他の事業収入	548,020
	寄附金収入	1,100,000
	借入金利息補助金収入	4,020,574
	受取利息配当金収入	1,675,546
	雑 収 入	3,669,425
	経常収入計(1)	392,681,676
支 出	人件費支出	250,983,015
	経費支出(直接介護支出)	54,392,578
	経費支出(一般管理支出)	50,638,789
	利用者負担減免額	90,625
	借入金利息支出	4,020,574
	経常支出計(2)	360,125,581
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		32,556,095
収 入	設備資金借入金収入	0
	施設設備等補助金収入	0
	施設設備等寄附金収入	0
	固定資産売却収入	0
	施設設備等収入計(4)	0
支 出	固定資産取得支出	17,549,170
	施設設備等支出計(5)	17,549,170
施設設備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-17,549,170
収 入	設備資金借入金元金償還補助金収入	13,552,500
	積立預金取崩収入	14,574,272
	他会計区分繰入金収入	29,361,923
	財務収入計(7)	57,488,695
支 出	他会計区分繰入金支出	54,682,675
	設備資金借入金元金償還補助金支出	18,070,000
	投資有価証券取得支出	10,000,000
	積立預金支出	152,863,189
	流動資産評価減等による資金減少額	295,533
	財務支出計(8)	235,911,397
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		-178,422,702
予備費(10)		0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-163,415,777
前期末支払資金残高(12)		266,708,035
当期末支払資金残高(11)+(12)		103,292,258

MESSAGE



地域福祉の担い手として 寒川ホームに期待すること

理事・評議員 平本 保甫

寒川町に居をかまえた三十余年前は、近くに田んぼが多くあり子供達の遊び場であった。隣り近所では、お年寄りから子供までがバランスよく暮らしていた。今、改めて周りを見ると、田んぼは住宅や駐車場に変わり、子供達は独立して家を離れ、高齢者世帯が増え、この地域でも高齢者問題は現実のものとなりつつある。

寒川ホームが開園して今年で十六年になるが、着実に実績を上げてきている。しかし、この間に新たに介護保険制度が導入され、同業者も増加し、経営の厳しさが増していることも事実である。町民の寒川ホーム利用状況を見ると、長期入所部門(特養)では全利用者の約



七十%、短期入所部門では約六十五%、通所部門に至っては約九十八%も占めている。これらの利用にもかかわらず、長期入所部門の待機者は増加傾向にあり、とくに最近では顕著である。このことは、寒川ホームが地域のお年寄りのよりどころとして位置づいていることを示すもので、この期待に応える必要がある。安定した経営を維持していくことは当然であるが、加えて地域に根ざし密着した、地域のための寒川ホームとして発展していくことが望ましいと考えている。そのための対策として、まず職員問題が重要である。最近の諸般の事情は厳しいが、有能な人材を確保し、育て定着させていくことが最も必要な課題である。経験の豊かな職員から常に安定した介護を受けることは、利用者としても大いに望むところであり、それに応えることが寒川ホームの使命であるからである。

地域の高齢者問題がますます重要性を増していくなかで、寒川ホームが地域から最重要視される施設として役割を担っていくことを期待して止まない。

楽しい思い出と共に

ケア・ワーカー 松本 政子

寒川ホームに就職して十年が過ぎました。初めての介護業務だったため、わからないことが不安なことだらけで、仕事の内容など覚えることが多く、最初の数年はあっという間に過ぎました。

就職して数ヶ月経ったある日、休み明けで出勤してきた際、ひとりの入居者の方が「来なくて寂しかったわ。」と言われた事がありました。まだ、至らないところが多い(今もそうですが...)私にさう言ってもらえたのがとても嬉しかった事を思い出します。

十年間の勤務の中で、楽しかった事、辛かった事いろいろありましたが、入居者、ファミリーの方の笑顔や名前を覚えて呼んで頂けた事、小さな嬉しい事がこまめに仕事を続けられた原動力のひとつなのだと思います。



▲ 10 年表彰を受けて

